

小学校第 6 学年

国語 A

注 意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題には、国語と算数の問題があります。国語の問題は1ページから12ページまであります。算数の問題は反対側の表紙から始まり、1ページから10ページまであります。
- 3 解答用紙には、国語の解答らんの面と算数の解答らんの面があります。解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆えんぴつ（シャープペンシルも可）を使い、こく、はつきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、次のとおりです。
 - ・国語 A 20分間
 - ・算数 A 20分間
 - ※ それぞれの時間になったら、合図があります。
 - ※ 国語の問題を解き終わっても、算数の問題に進んではいけません。
 - ※ 解答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 机つくえの上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、解答用紙に、学校名、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないように書きましょう。

問題は、次のページから始まります。

1

次の一と二の問いに答えましょう。

一 (1)から(3)までの文の——部の漢字の読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

(1) 道路の 標識 を見る。

(2) 街灯 がつく。

(3) 勢いよく 走り出す。

二 (1)から(3)までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

(1) 料理をのせた さら を運ぶ。

(2) 勝利を いわ う。

(3) かぜを よぼう する。

2

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

一 「五十歩百歩」

- 1 姉と私わたしは、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、**五十歩百歩**だ。
- 2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗たいこうドッジボール大会での優勝ゆうしょうをめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、**五十歩百歩**だ。
- 3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたわすのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことでは、**五十歩百歩**だ。

二 「百聞は一見にしかず」

- 1 友達の野村さんは、先生の説明のはじめの部分を聞くと、結論けつろんまで見通すことができるという。**百聞は一見にしかず**ということが出来る人だ。
- 2 私は、夕日が美しいことで有名な海岸を訪れおとず、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに**百聞は一見にしかず**だ。
- 3 私は、人からいろいろと細かく注意されることがいやだ。しかし、友達に**百聞は一見にしかず**だと助言されたので、そのことをよく考えてみようと思う。

3

次は、南田さんが想像したことをもとにして書いている【物語の一部】です。南田さんは、橋本さんから助言をもらっています。あとの【二人の会話の様子】の の中に入る内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【物語の一部】

良太は、小学三年生の男の子。春休みに、大きな町から引っこしてきました。四月、引っこした先の学校に通い始めましたが、はずかしがり屋の良太は同じ学級の人に声をかけることができませんでした。

おだやかな風がふく、ある日のことです。学校から家に帰った良太は、近くの公園に出かけました。その公園は、学級の人々がよく遊んでいる場所です。学級のだれかと会って話をしたくて、そこでじっと待つことにしました。しかし、公園にはだれも来ません。

良太は、さびしい気持ちでいっぱいになりました。

「こんなところなんてきれいだ。友達なんていららないや。」
と、小さな声でつぶやきました。

〜 (物語が続く) 〜

【二人の会話の様子】

南田 —— 部では、良太の気持ちを「さびしい」と表現したけど、「さびしい」という言葉を使わずに、うまく表現できないかな。

橋本 それならば、その気持ちを

南田 それはいいね。（しばらく考える。）

では、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」
としたらどうか。

橋本 そうだね。そのように書きかえると、「さびしい」という言葉を使わなくても、読み手に良太の気持ちや様子を想像させることができると思うよ。

（会話が続く）

1 良太の顔の表情

2 良太の心の中の声

3 良太の周りの風景

4 良太の行動

新聞には、読者からの投書（自分の意見や希望などを書いて送ること。また、その文章。）がのせられているものがあります。次の【投書】の書き手は、自分の意見や希望などをどのように書いていますか。その説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【投書】



命の大切さは同じ

小学生 西田夏子
(〇〇市 12才)

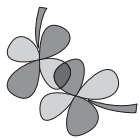
先日、近くの公園へ遊びに行ったとき、ねこの鳴き声が聞こえてきました。鳴き声の

する方へ近づくと、小さな箱があり、その中にねこがいました。そのねこは、ふるえていました。それを見て、わたしはかわいそうでしたまらなくなりました。

ねこは、すてられたのでしょうか。もしすてられたのであれば、

飼い主の人は、どうしてすてたのでしょうか。ねこは小さな生き物ですが、命の大切さはわたしたち人間と同じだと思います。

これは、ねこに限ったことではありません。動物を飼う人には、その動物の命の大切さをきちんと理解して飼ってほしいと思います。



- 1 複数の情報を比べ、内容のちがいに注目して書いている。
- 2 昔から伝わることわざや、言い伝えを引用して書いている。
- 3 自分の考えに反対する具体的な意見を取り上げて書いている。
- 4 自分が実際に体験したことをもとにして書いている。

5

次は、「かくれんぼう」という題名の物語の一部です。

ア

・

イ

・

ウ

の中には、「よし子」・「ジョール」・「オデット」という人物の名前が入ります。それぞれに当てはまる名前を書きましょう。ただし、同じ名前は一回しか入りません。

■物語のこれまでのあらすじ

登場人物は、よし子、フランス人のジョールとその妹のオデットです。三人は、かくれんぼうをして遊んでいます。おにのジョールは、よし子とオデットを同時に見つけました。そこで、二人はジョールにどちらを先に見つけたのかたずねています。

(志賀直哉「かくれんぼう」に由来。)

(志賀直哉「かくれんぼう」による。)

(志賀直哉「かくれんぼう」による。)

※1 「まゆ根を寄せ」……いやなことに対して顔をしかめること。

※2 「後ろ手」……手を背中に回すこと。

※3 「不興気」……おもしろくなさそうな様子。

6

黒木さんは、次の【きのうの出来事】についての文章を書いたあと、読み返して、適切な表現にしようとしています。あとの一と二の問いに答えましょう。

【きのうの出来事】

わたしは、きのうの夜、母に注意されたのに、おそくまでテレビを見たり、音楽を聞きました。そのため、夜にねおれなくなってしまいました。このようなことになったのは、母の注意に耳をかたむけていたらよかったと反省しました。

一 ア ―― 部は、「くたり」が一回しか使われていないので、適切な表現ではありません。
「くたり」は、複数の内容を並べるときに使う言葉です。ア ―― 部を「くたり、…たり」という表現を使って書き直しましょう。

(解答には、「く」と「…」の記号は必要ありません。)

二 イ部は、そのあとに続く「母の注意に耳をかたむけていたらよかったと反省しました。」
という内容に対して、適切な表現ではありません。イ部を書き直すときに使うことが
できる言葉を、1から5までのの中から三つ選んで、その番号を書きましよう。
(解答の順序は、問いません。)

1 なるならば

2 なるし

3 なるのに

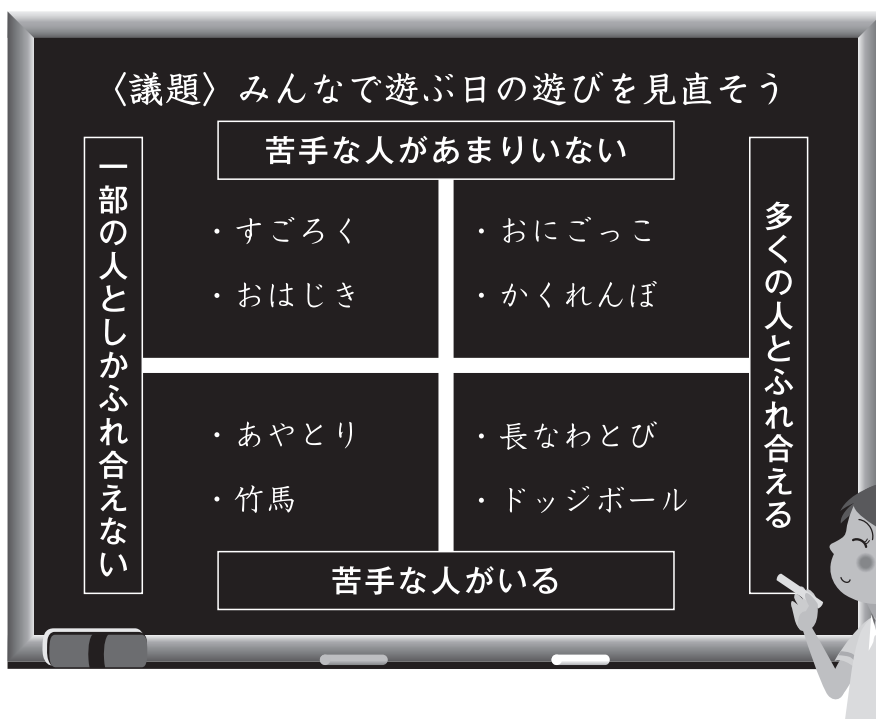
4 なるのだったら

5 なるのであれば

7

岩村さんの学級では、みんなが参加でき、多くの人とふれ合えるように、「みんなで遊ぶ日の遊びを見直そう」という案が出されました。それを議題として話し合いをしています。次は、話し合いの内容を黒板にまとめた【記録の一部】です。まとめ方の説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【記録の一部】



1 出された「遊び」を、場所やルールごとにそれぞれ整理している。

2 提案の理由に合わせた複数の観点を決め、それらに合わせて「遊び」を分類している。

3 出された「遊び」を、みんなが参加できると考えられる順番に上から並べている。

4 一つの「遊び」を取り上げ、そこからほかの「遊び」を連想して広げている。

8

次の【文章の一部】の——部の言葉の意味を、国語辞典を使って調べます。——部の「はかる」の意味は、あとの【国語辞典の一部】の1から4までの中のどれに当たりますか。一つ選んで、その番号を書きましよう。

【文章の一部】

小学生の運動習慣の調査によると、体育の授業以外では、運動をほとんどしない小学生が多いことが分かった。このことから、小学生が運動をする機会の増加をはかる必要があると考える。

〽 (内容が続く) 〽

【国語辞典の一部】

は

- 1 はかる【計る】はか (動) 時間・温度などを調べる。【例】タイムを計る。
- 2 はかる【測る】はか (動) 長さ・高さ・広さなどを測定する。【例】身長を測る。
- 3 はかる【量る】はか (動) 重さ・分量などを調べる。【例】体重を量る。
- 4 はかる【図る】はか (動) いろいろと考えて計画する。【例】解決を図る。

これで、国語Aの問題は終わりです。

注意

合図があるまで、次のページを開かないでください。

